

このたび、Switchでは「さとにきたらええやん」の上映会を実施します！  
映画の舞台となる「こどもの里」は、大阪市西成区の中でも「日雇い労働者の街」と呼ばれる「釜ヶ崎」にあり、様々な生きづらさを抱える子どもや保護者をあたたかく包み込む「居場所」であり続けています。  
この映画は、そんな「こどもの里」やそこに通う子どもたちを、重江良樹監督が丹念に取材したドキュメンタリーです。  
本上映会が、みなさまにとって子どもの貧困を考えるきっかけになれば幸いです。

# さとにきたら ええやん



日時：平成31年3月17日（日）10：00～12：00（開場：9：30）

会場：大阪府立大学中百舌鳥キャンパスB3棟117講義室

南海高野線「白鷺駅」下車、徒歩約7分 大阪メトロ御堂筋線「なかもず駅(5番出口)」から徒歩約13分

費用：無料 定員：80名程度

申込：[arikatakenkyukai@yahoo.co.jp](mailto:arikatakenkyukai@yahoo.co.jp)にメールにて、「氏名、連絡先、所属（任意）、配慮を希望する事項」を明記のうえお申し込みください（締切：3月8日（金）まで）

Switch（生活困窮者の支援の在り方研究会）は、堺市のケースワーカーを中心とした任意の自主研究グループです。  
詳しい活動内容は、【Facebook】生活困窮者の支援の在り方研究会で定期的に公開しています。⇒⇒⇒

同日、13：00～、同講義室にて「これからのソーシャルワーク専門職養成教育について考える」（主催：日本ソーシャルワーク教育学校連盟近畿ブロック）も開催されます。こちらも奮ってご参加ください！

主催：Switch（生活困窮者の支援の在り方研究会）

共催：大阪府立大学教育福祉研究センター

大阪府立大学ボランティア・市民活動センターV-station

